

多職種連携はもう古い

ー 新しいステージへ ー

北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク発足会
記念講演会のご案内



講師：医療法人財団 老蘇会 静明館診療所
医師 大友 宣 先生

日本在宅医療連合学会 北海道支部長
第8回 日本在宅医療連合学会大会 大会長

略歴：信州大学理学部、北海道大学医学部
聖隷三方原病院（浜松）
地域医療振興協会（横須賀、へき地支援）
衣笠病院（横須賀） 静明館診療所（札幌）

記念講演の内容をコッソリ（予定）

1. 多職種連携の次はヘンテコ1択
2. バーナードの3要素
3. ゴールデン・サークルは3つの輪
4. マシュマロスタディーから最強チームは3要素
5. 地域づくりに4つのララララ
6. 文化づくりの3つのカベ

在宅医療に多職種連携は欠かせません。しかしそれだけでは足りません。在宅医療の文化づくりに立ち上がる壁は、ひょっとすると我々医療人かもしれません。在宅医療に携わる先生の抱負な臨床経験と思索をお話いただきます。

とき：令和7年 **12月5日(金)**

18:30~20:00

場所：オホーツク JA Bldg. 会議室
(北見市とん田東町 617 番地)

対象：北見市及び近隣町の医療、介護、福祉、行政等の関係者

内容：

1. 北見圏域多職種ネットワーク発足会
2. 記念講演(60分)

⇒記念講演のみのご参加も歓迎です

申し込み：下記 URL・二次元コードより申込み

<https://forms.gle/L5Yq81fe3jyWoPQLA>

締め切り：令和7年12月1日(月)

参加費無料
オンライン可



北星記念病院は令和7年8月より、北見在宅医療圏(北見市、美幌町、津別町、訓子府町、置戸町)における「在宅医療に必要な連携を担う拠点」(北海道在宅医療連携拠点)の指定を受けました。地域の医療及び介護、障害福祉の関係者による協議体「北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク」を発足するにあたり、講演会を開催します。

在宅医療に必要な連携を担う拠点とは、在宅医療における必要な医療機能の確保・強化に向けて、市町が実施する「在宅医療・介護連携推進事業」の取組と連携しながら、包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制を構築するための連携調整を担います。

お問い合わせ

北見在宅医療圏連携拠点センター 担当：関 建久

TEL：0157-51-1244（北星記念病院内）

メール：kitami.medicare@nouge.gr.jp